

化学産業をサーキュラー・エコノミーに転換 基調講演・パネルディスカッション

目的

化学は、日本とドイツ両国で最も重要な産業および研究分野のひとつです。エネルギーやヘルスケア、製造業といった主要分野の持続可能な変革に貢献する高い可能性を秘めています。

本基調講演・パネルディスカッションでは、研究開発および産業界の専門家が、サーキュラー・エコノミーへの転換に向けた化学分野の革新的なソリューション、最先端の研究、並びに新たなアプローチについて知見を交換します。

- 日時：** 2023年10月3日（火）15:00～18:00（14:30開場）
会場： 六本木アカデミーヒルズ オーディトリウム
〒106-6149 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49F
主催： ドイツ研究振興協会（DFG）
ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京（DWIH Tokyo）
共催： 在日ドイツ商工会議所（AHK Japan）
後援： 理化学研究所、日本化学会
言語： 英語・日本語（同時通訳あり）

プログラム

- 14:30 開場
15:00 開会の言葉
アクセル・カーペンシュタイン ドイツ学術交流会（DAAD）東京事務所所長および
ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京（DWIH東京）ディレクター
マークウス・シュールマン 在日ドイツ商工会議所（AHK Japan）専務理事/駐日ドイツ
商工特別代表
挨拶
ハイデ・アーレンス 博士 ドイツ研究振興協会（DFG）事務総長
15:15 基調講演
ペーター・ゼーベルガー 教授 ドイツ研究振興協会（DFG）副会長
15:45 各界からのインプット
侯 召民 教授 理化学研究所環境資源科学研究センター 副センター長
カロラ・リヒター 博士 BASF アジア太平洋地域プレジデント（東および南アジア、
ASEAN、オーストラリア・ニュージーランド担当）
16:15 コーヒーブレイク
16:30 パネルディスカッション/質疑応答
司会：ハイデ・アーレンス 博士 DFG 事務総長
パネリスト：
 - ペーター・ゼーベルガー 教授 DFG 副会長
 - 侯 召民 教授 理化学研究所環境資源科学研究センター 副センター長
 - カロラ・リヒター 博士 BASF アジア太平洋地域プレジデント（東および南
アジア、ASEAN、オーストラリア・ニュージーランド担当）

17:00 名刺交換交流会
18:00 終了